

平成30年糸島市議会3月定例会提出議案について

- ☆ 3月5日から開会予定の糸島市議会3月定例会に付議する議案を、本日送付いたしました。
- ☆ 案件といたしましては、諮問第1号「人権擁護委員の候補者の推薦について」から議案第38号「監査委員の選任について」までの44議案を提案させていただくこととしております。

※提出議案 44件

- ◇ 人事案件〔12件〕 人権擁護委員の候補者の推薦について（7件）
教育長の任命について
教育委員会委員の任命について
公平委員会委員の選任について
監査委員の選任について（2件）

- ◇ 協議議案〔1件〕 福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について

- ◇ 条例議案〔9件〕
【新規条例2件】
糸島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等に関する条例について
糸島市旅館等の建築等の適正化に関する条例について
【一部改正条例7件】
糸島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
糸島市手数料条例の一部を改正する条例について
糸島市国民健康保険事業財政調整基金条例等の一部を改正する条例について
糸島市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
糸島市介護保険条例の一部を改正する条例について
糸島市指定介護予防支援の事業の人員及び運営に関する基準等に関する条例の一部を改正する条例について
糸島市公園条例の一部を改正する条例について

- ◇ その他の議案〔4件〕 糸島市休日・夜間急患センターの指定管理者の指定について

いとしま応援プラザの指定管理者の指定について
市道路線の廃止について
市道路線の認定について

- ◇ 補正予算〔8件〕
- 平成29年度糸島市一般会計補正予算（第6号）
 - 平成29年度糸島市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）
 - 平成29年度糸島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）
 - 平成29年度糸島市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
 - 平成29年度糸島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）
 - 平成29年度糸島市渡船事業特別会計補正予算（第2号）
 - 平成29年度糸島市水道事業会計補正予算（第4号）
 - 平成29年度糸島市下水道事業会計補正予算（第3号）
- ◇ 当初予算〔10件〕
- 平成30年度糸島市一般会計予算
 - 平成30年度糸島市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
 - 平成30年度糸島市国民健康保険事業特別会計予算
 - 平成30年度糸島市介護保険事業特別会計予算
 - 平成30年度糸島市後期高齢者医療特別会計予算
 - 平成30年度糸島市渡船事業特別会計予算
 - 平成30年度糸島市二丈福吉財産区特別会計予算
 - 平成30年度糸島市二丈一貴山財産区特別会計予算
 - 平成30年度糸島市水道事業会計予算
 - 平成30年度糸島市下水道事業会計予算

☆ 議案の内容といたしましては、

●人事案件（7件）

【総務課、人権・男女共同参画推進課】

諮問第1号～第7号 人権擁護委員の候補者の推薦について

※ 委員の任期満了に伴い、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、市長が法務大臣に人権擁護委員の候補者を推薦するに当たり、議会の意見を求めるもの。

任期 平成30年7月1日から平成33年6月30日まで（3年間）

- ・井手 清（いで きよし、前原校区、新任）
- ・藤山 裕志（ふじやま ひろし、怡土校区、新任）
- ・鍋山 正則（なべやま まさのり、深江校区、新任）

- ・野田 誠一郎（のだ せいいちろう、一貴山校区、新任）
- ・黒川 昌夫（くろかわ まさお、可也校区、新任）
- ・相田 成子（あいた しげこ、桜野校区、新任）
- ・友納 辰也（とものお たつや、引津校区、再任）

●協議議案（1件）

【総務課】

議案第2号 福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更について

- ※ 平成30年3月31日限り、豊前広域環境施設組合が解散されることに伴い、福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数を減少し、福岡県市町村職員退職手当組合同約を変更するため、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるもの。

●条例議案（9件）

〔新規制定（2件）〕

【介護・高齢者支援課】

議案第3号 糸島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等に関する条例について

- ※ 介護保険法の一部改正に伴い、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定めるため、条例を制定するもの。

【都市計画課】

議案第4号 糸島市旅館等の建築等の適正化に関する条例について

- ※ 旅館等の建築等の適正化を図るため、糸島市類似モーテル建築の規制に関する条例の全部を改正するもの。

〔一部改正（7件）〕

【総務課】

議案第5号 糸島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

- ※ 事務の効率化などを目的に糸島市の行政組織を見直す必要が生じたため、条例を改正するもの。

【介護・高齢者支援課、消防本部】

議案第6号 糸島市手数料条例の一部を改正する条例について

- ※ 介護保険法及び地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、条例を改正するもの。

【国保年金課】

議案第7号 糸島市国民健康保険事業財政調整基金条例等の一部を改正する条例について

- ※ 国民健康保険法及び地方税法の一部改正等に伴い、条例を改正するもの。

【国保年金課】

議案第8号 糸島市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

※ 高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、条例を改正するもの。

【介護・高齢者支援課】

議案第9号 糸島市介護保険条例の一部を改正する条例について

※ 介護保険法第129条の規定及び第7期糸島市介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの各年度における保険料率等を定めるとともに、介護保険法及び介護保険法施行令の一部改正に伴い、条例を改正するもの。

【介護・高齢者支援課】

議案第10号 糸島市指定介護予防支援の事業の人員及び運営に関する基準等に関する条例の一部を改正する条例について

※ 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、条例を改正するもの。

【施設管理課】

議案第11号 糸島市公園条例の一部を改正する条例について

※ 都市公園法及び都市公園法施行令の一部改正に伴い、条例を改正するもの。

●その他の議案（4件）

【健康づくり課】

議案第12号 糸島市休日・夜間急患センターの指定管理者の指定について

※ 「糸島市休日・夜間急患センター」の指定管理者の指定について、議会の議決を求めるもの。

- ・一般社団法人糸島医師会 会長 菊池^{まさのり}正統
- ・平成30年4月1日から平成35年3月31日まで（5年間）

【商工観光課】

議案第13号 いとしま応援プラザの指定管理者の指定について

- ※ 「いとしま応援プラザ」の指定管理者の指定について、議会の議決を求めるもの。
- ・特定非営利活動法人いとひとねっと 代表者 桑野陽子
- ・平成30年4月1日から平成33年3月31日まで（3年間）

【建設課】

議案第14号 市道路線の廃止について

※ 市道路線（4路線）を廃止するため、議会の議決を求めるもの。

【建設課】

議案第15号 市道路線の認定について

※ 市道路線（41路線）を認定するため、議会の議決を求めるもの。

●平成29年度補正予算（8件）

【財政課】

議案第16号 平成29年度糸島市一般会計補正予算（第6号）

※ 今回の補正：1億1,520万2千円を減額し、予算総額357億3,612万4千円とする。

【別途財政課作成資料あり】

【人権・男女共同参画推進課】

議案第17号 平成29年度糸島市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）

※ 今回の補正：1,905万6千円を追加し、予算総額2,750万1千円とする。

【国保年金課】

議案第18号 平成29年度糸島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）

※ 今回の補正：12億2,652万8千円を減額し、予算総額154億3,071万2千円とする。

【介護・高齢者支援課】

議案第19号 平成29年度糸島市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）

※ 今回の補正：1億1,942万2千円を減額し、予算総額83億5,013万4千円とする。

【国保年金課】

議案第20号 平成29年度糸島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）

※ 今回の補正：444万1千円を減額し、予算総額12億9,430万5千円とする。

【地域振興課】

議案第21号 平成29年度糸島市渡船事業特別会計補正予算（第2号）

※ 今回の補正：14万6千円を追加し、予算総額6,075万7千円とする。

【業務課】

議案第22号 平成29年度糸島市水道事業会計補正予算（第4号）

※ 今回の補正：主要な建設改良事業の既決予定額の補正等

【業務課】

議案第23号 平成29年度糸島市下水道事業会計補正予算（第3号）

※ 今回の補正：主要な建設改良事業の既決予定額の補正等

●平成30年度当初予算（10件）

【財政課】

議案第24号 平成30年度糸島市一般会計予算

※ 予算総額を337億6,640万1千円とする。

【別途財政課作成資料あり】

【人権・男女共同参画推進課】

議案第25号 平成30年度糸島市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

※ 予算総額を703万2千円とする。

【国保年金課】

議案第26号 平成30年度糸島市国民健康保険事業特別会計予算

※ 予算総額を125億3,956万円とする。

【介護・高齢者支援課】

議案第27号 平成30年度糸島市介護保険事業特別会計予算

※ 予算総額を83億5,800万円とする。

【国保年金課】

議案第28号 平成30年度糸島市後期高齢者医療特別会計予算

※ 予算総額を13億2,008万2千円とする。

【地域振興課】

議案第29号 平成30年度糸島市渡船事業特別会計予算

※ 予算総額を8,825万2千円とする。

【農林水産課】

議案第30号 平成30年度糸島市二丈福吉財産区特別会計予算

※ 予算総額を67万4千円とする。

【農林水産課】

議案第31号 平成30年度糸島市二丈一貴山財産区特別会計予算

※ 予算総額を846万8千円とする。

【業務課】

議案第32号 平成30年度糸島市水道事業会計予算

【業務課】

議案第33号 平成30年度糸島市下水道事業会計予算

●人事案件（5件）

【総務課、教育総務課】

議案第34号 教育長の任命について

※ 教育長の任期満了に伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、市長が教育長を任命するに当たり、議会の同意を求めるもの。

任期 平成30年3月5日から平成33年3月4日まで（3年間）

・家宇治 正幸（いえうじ まさゆき、再任）

【総務課、教育総務課】

議案第35号 教育委員会委員の任命について

※ 教育委員会委員の任期満了に伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、市長が委員を任命するに当たり、議会の同意を求めるもの。

任期 平成30年3月5日から平成34年3月4日まで（4年間）

・宗 聖子（そう せいこ、新任）

【総務課、監査事務局】

議案第36号 公平委員会委員の選任について

※ 公平委員会委員の任期満了に伴い、地方公務員法第9条の2第2項の規定により、市長が委員を選任するに当たり、議会の同意を求めるもの。

任期 平成30年3月9日から平成34年3月8日まで（4年間）

・三坂 昭（みさか あきら、再任）

【総務課、監査事務局】

議案第37号 監査委員の選任について

※ 監査委員の任期満了に伴い、地方自治法第196条第1項の規定により、市長が監査委員を選任するに当たり、議会の同意を求めるもの。

任期 平成30年3月9日から平成34年3月8日まで（4年間）

・井久保 道信（いくぼ みちのぶ、再任）

【総務課、監査事務局】

議案第38号 監査委員の選任について

※ 監査委員の任期満了に伴い、地方自治法第196条第1項の規定により、市長が監査委員を選任するに当たり、議会の同意を求めるもの。

任期 平成30年3月9日から平成34年2月13日まで

・徳安 達成（とくやす たつなり、新任）

◆問い合わせ先

総務部 総務課（担当：小金丸）

TEL 323-1111（代表） 内線1210

332-2100（直通）

平成29年度3月補正予算の概要

■一般会計補正予算（第6号）

補正額 ▲1億1,520万2千円

補正後予算総額 357億3,612万4千円

今回の補正予算は、国の補正予算を活用した事業などの増額や基金への積立ての予算措置を行うとともに、事務事業の精算による減額などを行っており、補正予算の総額は1億1,520万2千円の減額となっています。

増額する主な事業は以下のとおりです。

【一般会計；歳出】

()は、所管課

3款 民生費

◆P41 障害福祉サービス事業費（就労継続支援；1/4負担） 3,416万円

通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業において、その利用者が増加しています。（当初310人/月、見込み323人/月）（福祉支援課）

◆P43 地域介護・福祉空間整備等事業費（高齢者施設等改修支援事業補助金；10/10）

162万円

国の平成29年度補正予算を活用し、老朽化した小規模多機能型居宅介護施設「ふくよし」の修繕を行うための補助金（10/10）を計上します。（介護・高齢者支援課）

◆P45 障害児福祉サービス事業費（放課後等デイサービス；1/4負担） 2,083万円

就学中の障がい児を対象に、放課後や夏休み等の休業日に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等を行うデイサービスを市内13箇所で開催していますが、更に3箇所増え、その利用者が増加することが予測されます。（福祉支援課）

◆ P45 放課後児童クラブ管理運営事業；1/3負担 557万円

国が示す「放課後子ども総合プラン」に基づく放課後児童クラブの運営に係る国県補助基準額の増額分と障害児受入実績に基づく減額分等を差し引いた経費を計上します。（子ども課）

6款 農林水産業費

◆ P51 農業水利施設等整備事業費（国1/2、県1/4、市1/4） 4,659万円

国の平成29年度補正予算を活用し、荻浦・岩本・深江地区にある排水機場において、順次行われる県営事業によるポンプ等の改修工事の負担金を計上します。（農林水産課）

9款 消防費

◆ P61 防災行政無線整備事業費（防災行政無線戸別受信機購入費） 1億6,478万円

防災行政用無線局同報系デジタル化移行計画に基づき、土砂災害特別警戒区域内にある3,232世帯すべてに戸別受信機を購入し配布します。（危機管理課）

10款 教育費

◆ P65 中学校管理費（体育・文化部大会出場補助金） 131万円

沖縄県で開催されるロボットコンテスト九州大会を始め各種体育大会・文化コンテスト等に出場する生徒に補助を行います。（学校教育課）

【基金積立】

◆ P71 ふるさと応援基金積立金 1億2,000万円

ふるさと応援寄附に対し、多額の寄附をいただいたため基金に積立てます。（地域振興課）

◆ P71 公共施設等総合管理推進基金積立金 1億8,000万円

公共施設等総合管理計画に基づく公共施設等の維持、除却、整備を推進するため基金積立てを行います。（財政課）

*H29 年度末の主な基金残高見込み () は H28 年度末

・ 財政調整基金	53.4億円 (50.1億円 +3.3億円)
・ 公共施設総合管理推進基金	36.8億円 (35.0億円 +1.8億円)
・ ふるさと応援基金	2.9億円 (2.0億円 +0.9億円)

■第2表 繰越明許費補正 P 6

新規 8件

■第3表 債務負担行為補正 P 7

新規 2件 変更 5件

■第4表 地方債補正 P 8

追加 1件 変更 17件 廃止 1件

■住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）

補正額	+1,905万6千円
補正後予算総額	2,750万1千円

■国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）

補正額	▲12億2,652万8千円
補正後予算総額	154億3,071万2千円

■介護保険事業特別会計補正予算（第4号）

補正額	▲1億1,942万2千円
補正後予算総額	83億5,013万4千円

■後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）

補正額	▲444万1千円
補正後予算総額	12億9,430万5千円

■渡船事業特別会計補正予算（第2号）

補正額	+14万6千円
補正後予算総額	6,075万7千円

《問い合わせ先》

総務部 財政課 大神

電話 332-2102（直通）

内線 1220

平成30年度 糸島市当初予算（案）の概要

単位：千円

会計名	平成30年度	平成29年度	H30-H29		
			増減額	増減率	
一般会計	33,766,401	34,380,726	▲614,325	▲1.8%	
特別会計	住宅新築資金等貸付事業特別会計	7,032	8,445	▲1,413	▲16.7%
	国民健康保険事業特別会計	12,539,560	16,150,966	▲3,611,406	▲22.4%
	介護保険事業特別会計	8,358,000	8,180,477	177,523	2.2%
	後期高齢者医療特別会計	1,320,082	1,285,646	34,436	2.7%
	渡船事業特別会計	88,252	60,356	27,896	46.2%
	二丈福吉財産区特別会計	674	1,048	▲374	▲35.7%
	二丈一貴山財産区特別会計	8,468	3,919	4,549	116.1%
企業会計	水道事業会計	2,588,565	2,685,587	▲97,022	▲3.6%
	下水道事業会計	4,460,155	4,593,033	▲132,878	▲2.9%
予算総額	63,137,189	67,350,203	▲4,213,014	▲6.3%	

※企業会計については、会計方式が異なるため、収益的支出と資本的支出を合わせた総額を予算規模とみなしています。

《参考》

平成26年度一般会計当初（骨格）予算額と6月補正（肉付け）予算額

当初 32,150,665千円

補正 434,127千円（肉付け分：472,306千円、通常分：-38,179千円）

平成30年度 一般会計当初予算（案）の概要

1 予算編成の基本的な考え方

骨格予算・・・新規・政策経費は6月補正予定

平成30年1月28日に市長選挙を控えていたため、新規事業や政策的な経費を除く骨格予算で編成しています。

人件費、扶助費、公債費の義務的経費、一般管理費、施設管理費等の経常的経費及び既に着手している継続事業等に加え、年度当初からの執行が必要な事業や既に実施することが決定されている事業についても当初予算に計上しています。

新規事業や政策的経費等については、6月補正予算（肉付け予算）において計上し、当初予算と合わせて通年予算とします。

元気で魅力あるいとしまの持続・発展

平成30年度予算編成においては、市長選挙を控えての骨格予算であるものの、「第1次糸島市長期総合計画・後期基本計画」を基調とし、合併後の糸島市の成長・発展を確実なものとするため、これまでの取り組みの継続と一層の推進に向けた予算を編成しました。

行政の継続性、緊急性の観点からこれまで取り組んできた施策や緊急に取り組まなければならない施策として後期基本計画に「子育て支援」、「校区まちづくり推進」、「九州大学を生かした地域づくり」、「しごとづくり」、「移住支援」の5項目を重点プロジェクトと位置付け、更なる推進を図ることとしています。

行財政改革等の取組を反映

「第2次糸島市行政改革大綱」の基本方針や「市役所の仕事総点検」の結果を踏まえ、職員数の削減や民間委託の活用などの行財政健全化計画の取組を予算に反映させ、地方交付税の合併算定替特例措置の終了後においても持続可能な財政運営を目指します。

2 予算規模 ～前年度比、微減～

歳入歳出総額 337億6,640万1千円

～対前年度比 ▲6億1,432万5千円 ▲1.8%

平成30年度においては、歳出面では、学校施設や生活環境施設等の公共施設等の適正化を図るための経費が増額となる一方で、駅関連施設整備事業等の大型事業が終了することに伴う関連経費が大幅に減額となっています。また、社会保障関連費については、国が進める子ども・子育て支援に係る経費や障害者福祉費等が増加しているものの、国民健康保険制度の改正等に伴い国民健康保険事業特別会計への繰出金が大幅に減額となっています。

歳入面においては、国の経済情勢や移住・定住等の取組の成果等を市税や譲与税・交付金等に反映させて計上しており、また駅関連事業等の終了に伴い国庫補助金や市債等は大幅に減少しています。地方交付税については、合併算定替えの縮減や地方財政計画で示された見込み額を踏まえ減額となっています。

なお、今年度は、新規事業や政策的経費の計上を抑制した骨格予算ではありますが、予算の多くが義務的経費及び経常的経費であること、既に計画決定、着手している事業が多数であることから減額の大きな要因とはなっていません。

3 予算の特徴

【歳入】

(1) 市税・・・92億6,538万円(+6,899万円、+0.8%)

個人市民税では、定住・移住の取り組みの成果により納税義務者が前年度比1.5%増加、また、経済状況の改善により法人市民税が11.3%増加すると見込んでいます。

一方、固定資産税においては、地価が一部上昇ポイントもあるため土地は2.3%の増加を見込んでいますが、家屋は3年に1度の評価替えの年にあたるため1.6%の減を見込んでいます。

(2) 地方交付税・・・79億円(▲2億7,200万円、▲3.3%)

普通交付税において、合併算定替えが縮減(縮減率70%)されるとともに、国の地方財政対策に基づき前年度比2.0%の減少を見込み、3.3%減額しています。

(3) 国・県支出金・・・91億6,248万円(▲1億1,161万円、▲1.2%)

国庫支出金では、筑前深江駅整備事業等の終了に伴い社会資本整備総合交付金が6億9,488万円減少しますが、循環型社会形成推進交付金1億8,818万円やエネルギー構造高度化・転換理解促進事業1億7,651万円、私立保育所等運営費1億618万円等が増額となります。

県支出金では、農業農村整備事業1億4,485万円の増、私立保育所等運営費5,309万円の増、障害児通所給付費等負担金1,561万円の増、障害者自立支援給付費負担金1,523万円増等社会福祉費等が増加しています。

(4) 寄附金・・・3億500万円(▲1億3,000万円、▲29.9%)

ふるさと応援寄附金は寄附額向上コーディネート業務委託により3億円(2,000万円増)を見込みます。

(5) 市債・・・21億4,950万円(▲5億628万円、▲19.1%)

筑前深江駅関連施設整備事業等の大型事業が終盤になるため土木債が6億490万円減となる一方で、し尿処理センター基幹的設備改良事業により衛生債が2億2,180万円の増を見込みます。

なお、臨時財政対策債は地方財政計画を踏まえ、1,598万円(1.5%)減額で計上しています。

【歳出】

(1) 義務的経費・・・180億9,926万円(+2億9,491万円、+1.7%)

予算総額に占める義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の割合は53.6%（前年度51.8%）に達し、依然として硬直性の高い状況となっています。

①人件費は、52億910万円。▲8,524万円、▲1.6%

職員数の減少に伴う職員給与の減などによるものです。

職員数は、5名減（一般会計で5名；全会計555名）となっています。

②扶助費は、99億2,734万円。+2億3,778万円、+2.5%

障害者福祉サービス関係費や児童福祉費、老人福祉費等の増加によるものです。

扶助費は、この4年間で約10億円増加しています。

③公債費は、29億6,282万円。+1億4,237万円、+5.0%

平成28年度に実施した防災行政無線デジタル方式移行事業（緊急防災・減災事業債）や平成26年度及び平成27年度臨時財政対策債等の償還額が増加したため増額を見込んでいます。

(2) 物件費・・・48億4,686万円(+2億1,536万円、+4.6%)

市役所の仕事総点検結果等を踏まえて民間委託等が推進されたため委託料が4,770万円、1.5%増加しているとともに、ICT化が進みパソコン借上料等が増加しています。

(3) 投資的経費・・・33億162万円(▲9億5,196万円、▲21.2%)

新規事業や政策的な経費を除いた骨格予算であり、また駅関連事業が終盤となるため、普通建設事業費では前年度に比べ9億5,196万円、21.2%の大幅減となっています。

(4) 繰出金・・・40億154万円(▲1億7,598万円、▲4.2%)

各特別会計への繰出金において、国民健康保険事業特別会計への繰出しは制度改正に伴い、前年度に比べ基準内が2,899万円2.6%の減、基準外は2億277万円、66.1%の大幅減となっています。

4 健全財政の維持

(1) 財政調整基金からの繰入・・・5億6,000万円

平成30年度の当初予算は、歳出超過となることから財政調整基金の取り崩しで財源不足を補てんします。繰入額は5億6,000万円（前年度比6,700万円の増）で、繰入後の基金残高は47億8,770万円を見込みます。

(2) 市債残高・・・H30年度末残高見込み297億2,560万円

当該骨格予算においては、起債の発行抑制などにより返済額が借入額を上回っており、平成29年度末の残高見込みに比べ2.7億円減少する見込みです。

5 新規・拡充する主な事業

(*は新規事業)

(1) ソフト事業

	事業名	事業費	増減額
*	施設型給付事業（小規模保育事業）	3,800万円	3,800万円
*	教職員用校務パソコン整備事業	1,693万円	1,693万円
*	学校給食運営・施設設備検討事業	950万円	950万円
*	ファミリー・サポート事業	568万円	568万円
*	地域おこし協力隊（観光）事業	375万円	375万円
*	災害支援物資備蓄事業	283万円	283万円
	定住コーディネート事業	705万円	235万円
	私立保育所等独自サービス応援事業	2,089万円	209万円
*	胃がんリスク検査事業	65万円	65万円

(2) ハード事業

	事業名	事業費	増減額
	し尿処理センター基幹的設備改良事業	4億6,196万円	4億5,918万円
	加布里小学校大規模改造事業	2億1,620万円	1億8,801万円
*	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業	1億7,998万円	1億7,998万円
*	ため池耐震調査事業	1億3,167万円	1億3,167万円
	新田久保田線整備事業	1億7,220万円	7,500万円
	JR荻浦踏切歩道設置事業	7,000万円	5,900万円
	県営用排水施設整備事業	5,097万円	4,036万円
*	バリアフリー化設備等整備事業	3,542万円	3,542万円
*	前原小学校大規模改造事業	3,191万円	3,191万円
*	放課後児童クラブ整備事業（東風第3）	3,065万円	3,065万円
*	農地耕作条件改善事業	2,283万円	2,283万円
	桜野小学校屋内運動場改修事業	2,350万円	2,267万円
*	特別支援学校建設用地取得準備事業	1,862万円	1,862万円
*	前原西中学校前線整備事業	1,800万円	1,800万円
*	二丈コミュニティプラザトイレ更新事業	1,644万円	1,644万円
*	中学校プール循環ろ過設備改修事業	1,318万円	1,318万円

《問い合わせ》

総務部 財政課 大神

TEL332-2102（直通）

内線 1220

ママの力をテレワークで活かす！ 「ママライター育成講座」成果報告会の開催

《概要》

- ▶ 市では、情報発信技術を使い、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方として、「テレワーク」を推進しています。
- ▶ 今年度、テレワークで働くテレワーカー養成の一貫として、働きたい意思を持ったお母さん達が、自らのライフスタイルを大切にしながらキャリア形成・しごと作りに繋げられるライターとしての技術を得る、「ママライター育成講座」を開催しました。
- ▶ 全7回の講座で、10名（20代から30代）の参加者は、各分野の専門家から、取材技術、正確な文章作成、写真撮影の手法を学び、課題提出や厳しい添削を通して仕事に繋がる技術を磨きました。
- ▶ 講座の卒業制作では、広報いとしま2月15日号特集記事の取材原稿の作成や糸島市子育て世代応援サイトいとネットの協賛店レポートの原稿執筆を行っています。
- ▶ 今回、ママライター育成講座の集大成として、下記のとおり成果報告会を開催します。

開催日時 2月27日（火曜日） 10時から12時30分

開催場所 糸島市役所11・12号会議室（南側車庫2階）

開催内容 ① 基調講演「未来におけるあたりまえのはたらきかたを創る」

講師 市川望美氏（非営利型株式会社 Polaris 取締役ファウンダー）

② 平成29年度ママライター育成講座実施報告

③ グループトーク「糸島で、これからやりたいこと」

「自分の『今』の環境を活かして、やりたいこと」を語りあいます。

※ ③終了後、ママライター育成講座受講者を対象に、修了証授与式を予定。

- 事業効果：子育て中の女性に対するキャリア形成・しごと作りによる移住・定住の促進。
- 事業展開：テレワークの手法を活用し、市内事業者等から業務を受託予定。
- 今後の予定：平成30年度、第2回「ママライター育成講座」実施予定。

【問い合わせ先】

企画部 地域振興課 市民協働係（担当：荻原）
TEL：323-1111（内線 1321）
332-2062（直通）

糸島市単独移住セミナー 「いとしま.住む」～イトシマドットスム～の開催について

【概要】

首都圏在住の転入希望者に対して、市職員による「本市の概要・移住施策の紹介」や、東京からの本市への移住者による「糸島ライフの紹介」等を行うセミナーを開催します。

県内市町村が東京において単独主催で行う移住関連イベントは、北九州市、筑前町、小竹町、久留米市等数少なく、本市としては2回目の単独移住イベントとなります。

※過去は、平成 29 年 1 月に東京都中央区京橋で「UIJ ターン職・住・余暇相談会」を開催。24 組 37 人が来場。

日 時	平成 30 年 3 月 24 日（土曜日） 17 時 00 分～20 時 30 分
会 場	NPO 法人 ふるさと回帰支援センター （東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館ビル 8 階）
内 容	●糸島市の紹介（市の概要や移住に関する取組みなど） ●先輩移住者の話（何故、糸島を定住地として選んだのか） ゲストスピーカー 「愛しの糸島」編集長 本橋へいすけ 氏* ●糸島移住ピアトーク（来場者との意見交換会や質疑応答等） ●個別相談&交流タイム
対象者	首都圏在住者（メインターゲット：20 代～40 代）
参加費	無料
申 込	申込なしでも参加可能（事前申込があれば優先的に座席を確保）
主 催	糸島市

【現状】

- 本市への移住相談者のうち、首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）在住者からの問い合わせは九州在住者に次いで 2 番目に多い。
- また、首都圏での移住相談者は、比較的 30 代、40 代が多く、本市がメインターゲットとしている子育て世代であるため、首都圏での情報発信に力を入れているところである。
- これまで NPO 法人等が主催する首都圏の移住イベントでは、本市ブースを訪問した来場者数が他市町村より多く、「移住先＝糸島」として、徐々に首都圏において評価され始めている。

【イベントの特長】

- 1 糸島市への先輩移住者であり、糸島暮らし情報を積極的に発信し続ける人気ブロガーがゲストスピーカーとして登場
- 2 来場者が単に市担当者やゲストスピーカーの話を聴くだけでなく、自ら移住に対する疑問や悩みを発表し、来場者が互いにそれを共有することで、移住に対して前向きな気持ちになる「ピアトーク」を開催

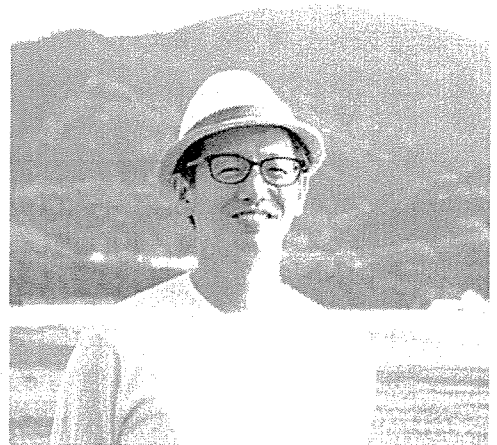
※来場者参加型は、過去に宮崎県、京都府、久留米市が行った経緯があるが、来場者どうしが移住に関する疑問や悩みをぶつけ合い、共有する「移住ピアトーク」を行うのは初めての試み。(糸島市調べ)

ゲストスピーカー 本橋へいすけ氏

1982年生まれ、東京出身 平成25年に東京から糸島市へ移住。移住情報、糸島情報ブログ「愛しの糸島ライフ」を運営。月間12万ページビューを記録。

その他にも「田舎暮らし成功の7つのステップ」のメルマガ執筆や、音楽サイト「音楽のある暮らし」等も運営。検索上位表示させるSEOやSNSメディアなどを活用し、広告に頼らない集客プランニングをアドバイスしている。

社員の経歴もあり、元外資系シニアマネージャーで、職場環境は良かったが、やりがいのなさを感じ糸島市への移住を機に退職。住まい近くのゲストハウス「いとより」を拠点に活動。移住希望者の相談等にも個別に対応している。



■問い合わせ先

糸島市 企画部 地域振興課
定住・学研都市係
担当：大鶴・中村（内線1323）
電話：092-332-2062（直通）